

UNItex Print Filter

INSTALL MANUAL

UNItex JAPAN Co.,Ltd.

目次

1 はじめに	1
2 インストール	3
2.1 Solarisへのインストール	4
CD-ROM版	4
Floppy版	4
インストールの流れ	5
2.2 HP-UXへのインストール	8
CD-ROM版	8
Floppy版	8
DAT版	8
インストールの流れ	9
2.3 IRIXへのインストール	14
CD-ROM版	14
インストールの流れ	14
2.4 AIXへのインストール	18
CD-ROM版	18
Floppy版	18
インストールの流れ	19
2.5 UnixWare7へのインストール	22
CD-ROM版	22
インストールの流れ	22
2.6 EWS4800 UX/Vへのインストール	25
Floppy版	25
インストールの流れ	25
2.7 SunOSへのインストール	26
CD-ROM版	26
Floppy版	26
インストールの流れ	26
ローカルプリンタの登録	29
2.8 Linuxへのインストール	31
CD-ROM版	31
パスワードの設定	32
ローカルプリンタの登録	33
3 環境変数の設定	39
cshを使用している場合の設定	39
shを使用している場合の設定	39
bashを使用している場合の設定	39

4 プリンタの設定	41
4.1 ローカルプリンタ	41
4.2 リモートプリンタ	42
リモート側のプリンタ設定	42
Solarisの場合	43
admintool	43
printmgr	44
HP-UXの場合	45
SunOS の場合	47
Linux の場合	47
ローカル側のプリンタ設定	47
4.3 ネットワークプリンタ	48
ARPによるIPアドレスの設定	49
hostsファイルの編集	49
Solarisの場合	50
HP-UXの場合	50
IRIXの場合	51
AIXの場合	52
SVR4の場合	52
Linux/SunOSの場合	53
5 ツールの設定	55
5.1 UPFTOOLの設定	55
5.2 環境変数の設定	59
cshを使用している場合の設定	59
shを使用している場合の設定	59
bashを使用している場合の設定	59
6 印刷実行例	61
6.1 Solarisの場合	61
6.2 HP-UXの場合	64
6.3 IRIXの場合	67
6.4 AIXの場合	70
6.5 UnixWare7の場合	73
6.6 EWS4800 UX/Vの場合	76
6.7 SunOSの場合	79
6.8 Linuxの場合例	80
7 F A Q	81

第 1 章

はじめに

はじめに

まずはじめに、添付されているパスワード申請書に必要な事項を記入して、パスワードの申請を行ってください。

サンプル版としてご利用する場合にはパスワードの申請は必要ありませんが、パスワード期限が過ぎている場合には再度サンプル版のパスワードを発行致しますのでご連絡ください。

パスワード申請書の記入方法でよくお問い合わせ頂く項目について下記に簡単にご説明します。

マシン名：	ホスト名を記入して下さい。（例：sun1）
マシンタイプ：	マシンタイプを記入して下さい。（例：Ultra5）
OS Version：	オペレーティングシステムのバージョンを記入して下さい。
ホストID：	ホストIDを記入して下さい。 端末エミュレータなどで <code>sysdef -h</code> 又は <code>hostid</code> 等のコマンドを実行すると表示されます。



パスワードの発行はホストIDにて発行していますのでホストIDは必ずUPFをインストールするマシンのホストIDを記入して下さい。使用するOSが「SCO UnixWare」の場合には、「SCO UnixWare」に付属のライセンス証明書に記載されたシリアルナンバーも記入して下さい。

また、使用するOSが「Linux」の場合には、こちらからプロダクト番号をCDに添付していますので、このプロダクト番号をホストIDの欄に記載して下さい。

第 2 章

インストール

インストール

各OS別にインストール方法について記載しています。インストールするOS別のインストール方法を参照してインストールして下さい。いずれもスーパーユーザ（rootのユーザ）でのインストール作業となります。

また、各UPFのパッケージ名は下記のようにになっています。

パッケージ名一覧

名称	パッケージ名
UPFコア（本体）	UPF-CORE
キヤノンBJフィルタ	UPF-CBJC
キヤノンWonderBJ-Fフィルタ	UPF-CBJF
エプソンMJフィルタ	UPF-EMJC
エプソンPHOTO-MACHJET3フィルタ	UPF-EPM3
エプソンPHOTO-MACHJET5フィルタ	UPF-EPM5
エプソンESC/Pageフィルタ	UPF-ESCPG
エプソンESC/PageColorフィルタ	UPF-EEPGC
エプソンESC/Pフィルタ	UPF-ESCP
キヤノンLIPS-II+フィルタ	UPF-LIPS2
キヤノンLIPS-IIIフィルタ	UPF-LIPS3
キヤノンLIPS-IVフィルタ	UPF-LIPS4
キヤノンLIPS-IVcフィルタ	UPF-LIPSC
Adobe PostScriptフィルタ	UPF-PS
Adobe カラーPostScriptフィルタ	UPF-PSC

2.1 Solarisへのインストール

CD-ROM版

CD-ROM版からのインストールする場合には下記のようにCD-ROMをマウントし、pkgadd コマンドでインストールします。

```
# volcheck
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/solsparc/UPF パッケージ名
```

通常のSolarisではボリューム管理機能が動作していますが、もし動作していない場合は下記のように実行して下さい。

```
# mount -F hsfs -r /dev/dsk/c0t6d0s2 /cdrom
# pkgadd -d /cdrom/solsparc/UPF パッケージ名
```

上記のsolsparcはSPARC版の場合です。Intel版の場合はsoli386となります。またc0t6d0s2のデバイス名はマシンによって異なります。Solarisのマニュアルを参照して下さい。

パッケージ名は購入されたUPFパッケージを指します。例えば、UPF-COREとUPF-LIPS4を購入された場合には下記のようにそれぞれ pkgadd コマンドでインストールします。

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/solsparc/UPF UPF-CORE
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/solsparc/UPF UPF-LIPS4
```

Floppy版

Floppy版からインストールする場合には下記のように pkgadd コマンドでインストールします。

```
# volcheck
# pkgadd -d /vol/dev/aliases/floppy0 パッケージ名
```

通常のSolarisではボリューム管理機能が動作していますが、もし動作していない場合は下記のように実行して下さい。

```
# pkgadd -d /dev/rdiskette パッケージ名
```

パッケージ名は「第2章 インストール」にあるパッケージ名一覧のパッケージ名を使用します。

インストールの流れ pkgadd を実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

UPF-COREの場合

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/solsparc/UPF UPF-CORE

</cdrom/cdrom0/solsparc/UPF> 中のパッケージインスタンス <UPF-CORE> を処理中です。

UNItEX Print Filter Core Tool
(sparc) 2.2

Copyright (c) 1995-1996 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItex JAPAN and its licensors, if any.

Enter passwd [?,q] 010203040506

パッケージのベースディレクトリのパス名を入力してください。 [?,q] /opt
Using </opt> as the package base directory.

## パッケージ情報を処理中です。
## システム情報を処理中です。
## ディスク領域の要件を確認中です。
## すでにインストール済みのパッケージとの重複を確認中です。
## setuid/setgid を行うプログラムを検査中です。

This package contains scripts which will be executed with super-
user
permission during the process of installing this package.

Do you want to continue with the installation of <UPF-CORE>
[y,n,?] y

UNItEX Print Filter Core Tool を <UPF-CORE> としてインストール中です。

## 1/1 部分をインストールしています。
3220 blocks
## postinstall スクリプトを実行中です。

Installation of <UPF-CORE> was successful.
#
```

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

UPFをインストールする場所を指定します。

yを入力します。

UPF-EMJCの場合

```
# pkgadd -d /cdrom/cdrom0/solsparc/UPF UPF-EMJC

</cdrom/cdrom0/solsparc/UPF> 中のパッケージインスタンス <UPF-EMJC> を処
理中です。

EPSON MJ-COLOR Print Filter
(sparc) 2.2

Copyright (c) 1995-1996 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.
```

プリンタポートのデバイスを
指定します。

↓

```
Enter printer device(default: /dev/term/a) [?,q] /dev/ecpp0
```

ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パス
ワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

↓

```
Enter filter passwd [?,q] 010203040506
パッケージのベースディレクトリのパス名を入力してください。 [?,q] /opt
Using </opt> as the package base directory.
## パッケージ情報を処理中です。
## システム情報を処理中です。
## パッケージの依存関係を検査しています。
## ディスク領域の要件を確認中です。
## すでにインストール済みのパッケージとの重複を確認中です。
## setuid/setgid を行うプログラムを検査中です。

This package contains scripts which will be executed with super-
user
permission during the process of installing this package.

Do you want to continue with the installation of <UPF-EMJC>
[y,n,?] y
```

yを入力します。

UPFをインストールする
場所を指定します。

```
EPSON MJ-COLOR Print Filter を <UPF-EMJC> としてインストール中です。

## 1/1 部分をインストールしています。
1950 blocks
## postinstall スクリプトを実行中です。
destination "emjct" now accepting requests
printer "emjct" now enabled
destination "emjci" now accepting requests
printer "emjci" now enabled

Installation of <UPF-EMJC> was successful.
#
```

UPF-CORE以外のパッケージをインストールすると必ずプリンタポートのデバイス名を指定するように要求されます。ローカルプリンタとして使いたい場合でもネットワークで使いたい場合にも必ず指定しなければなりません。

Solarisでのプリンタポートのデバイス名は下記のようになります。

機種	デバイス名
ULTRA5/10/30/60などのECPをサポートした機種でプリンタポートで使用する場合	/dev/ecpp0
SPARCStation5/10/20等の機種でプリンタポートで使用する場合	/dev/bpp0
シリアルポートで使用する場合 (UPFではサポートされません)	/dev/term/a もしくは /dev/term/b

ネットワークプリンタとして使用する場合でも上記のデバイス名を必ず入力して下さい。

pkgadd でのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

もしインストールに失敗した場合や、再度インストールする場合には pkgrm を使用してパッケージを削除したあと再インストールして下さい。

```
# pkgrm パッケージ名
```

2.2 HP-UXへのインストール

CD-ROM版 CD-ROM版からのインストールする場合には下記のようにCD-ROMをマウントし、installシェルコマンドを実行してインストールします。

```
# mount -F cdfs /dev/dsk/c201d5s0 /mnt
# cd /mnt/HPUX10/UPF
# ./UPFINSTALL.SH
```

上記のHPUX10はHO-UX10.x~の場合です。HP-UX9.xの場合はHPUX9となります。また上記のデバイス名c201d5s0はマシンによって異なります。HP-UXのマニュアルを参照して下さい。

Floppy版 Floppy版からのインストールする場合には下記のように実行してインストールします。

```
# cd /tmp
# tar xvf /dev/rfloppy/c0t1d0 upfinstall
# ./upfinstall
```

Floppyのデバイス名はマシンによって異なります。HP-UXのマニュアルを参照して下さい。

DAT版 DAT版からのインストールする場合には下記のように実行してインストールします。

```
# cd /tmp
# tar xvf /dev/rfloppy/rmt/0m upfinstall
# ./upfinstall
```

インストールの流れ

installシェルスクリプトを実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

UPF-COREと
UPF-EMJCの例

```
# ./UPFINSTALL.SH

UPF Package Installing Script Start

Enter temporary directory [default:/tmp]
? /tmp ← ワーク用ディレクトリを入力します。

Enter install media device [default:/dev/rfloppy/c20Ad1s0]
? /dev/. ← CD-ROM版の場合は"."
Floppy版の場合は /dev/rfloppy/c0t1d0
DAT版の場合は/dev/rmt/0 を指定します。

Copyright (c) 1995-1997 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter install directory [default:/opt]
? /opt ← UPFをインストールする場所を指定します。

Package Contents:
UPF-CORE          UNItEX Print Filter Core Tool
UPF-CBJC          CANON BJ-COLOR Print Filter
UPF-CBJF          Canon WonderBJ-F Serieese Print Filter
UPF-LIPS2         CANON LIPS-II Print Filter
UPF-LIPS3         CANON LIPS-III Print Filter
UPF-LIPS4         CANON LIPS-IV Print Filter
UPF-LIPSC        CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter
UPF-EMJC          EPSON MJ-COLOR Print Filter
UPF-EPM3          EPSON PM-3000C/770C Print Filter
UPF-EPM5          EPSON PM5000-COLOR Print Filter
UPF-ESCP         EPSON ESC/P-J83 Print Filter
UPF-ESCPG        EPSON ESC/Page Print Filter
UPF-EEPGC        EPSON ESC/PageColor Print Filter
UPF-PSC          Adobe Color PostScript Print Filter
UPF-PX           Adobe PostScript Print Filter for Super-
PLEX3

Installing UPF-CORE (UNItEX Print Filter Core Tool)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← y を入力します。

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パス
ワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter core password [quit:q]? 010203040506 ←
Enter core password [quit:q]? q ← q を入力します。
```

```

Input core password:
010203040506

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-CORE ...
x UPF/bin/setPasswd, 61751 バイト, 121 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool, 957998 バイト, 1872 テープ・ブロック
x UPF/bin/winclip, 28769 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/bin/xwd2img, 259012 バイト, 506 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool.setup, 17472 バイト, 35 テープ・ブロック
x UPF/lib/upftool.def, 2086 バイト, 5 テープ・ブロック
done

Patching password ... done

Installing UPF-CBJC (CANON BJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-CBJF (Canon WonderBJ-F Serieese Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS2 (CANON LIPS-II Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS3 (CANON LIPS-III Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS4 (CANON LIPS-IV Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPSC (CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EMJC (EPSON MJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← インストールするので y と入力します。

ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter filter password [quit:q]? 090807060504
Enter filter password [quit:q]? q ← q を入力します。

Input filter password:
090807060504

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-EMJC ...
x UPF/bin/upfemjcif, 686267 バイト, 1341 テープ・ブロック
x UPF/bin/upfemjctf, 28802 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/lib/interface/emjc, 1532 バイト, 3 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj5000c.pdf, 340 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj3000cu.pdf, 347 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj900c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj800c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj700c.pdf, 290 バイト, 1 テープ・ブロック

```

```

x UPF/doc/Readme.emjc, 1819 バイト, 4 テープ・ブロック
done

Patching password ... done

Entry LP print service [yes/y:no/n]? y

Input printer device(default: /dev/ptr_parallel) ? /dev/c1t0d0_lp
スケジューラ停止しました。

lpstat -vemjc
lpstat: プリンタ "emjc" は存在しません。

emjc entry LP print service.
OK [yes/y:no/n]? y

出力先 "emjc" は現在出力要求を受け付けています。
ただ今プリンタ "emjc" が出力可能状態になりました。
スケジューラが実行しています。

Installing UPF-EPM3 (EPSON PM-3000C/770C Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EPM5 (EPSON PM5000-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCP (EPSON ESC/P-J83 Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCPG (EPSON ESC/Page Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EEPGC (EPSON ESC/PageColor Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-PSC (Adobe Color PostScript Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-PX (Adobe PostScript Print Filter for SuperPLEX3)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Package installing is successful.
#

```

プリンタを登録するので
y を入力します。

プリンタデバイスを指定します。
HP-UX9.xの場合は /dev/ptr_parallel
HP-UX10.x~の場合は /dev/c1t0d0_lp
を指定します。実際にはマシンによって異なります。

y を入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

CD-ROM版の場合には全てのパッケージ名が表示されます。インストールするパッケージだけ `y` を入力してインストールして下さい。Floppy版やDAT版では購入したパッケージ名のみ表示されます。

インストール中に必ずプリンタポートのデバイス名を指定するように要求されます。ローカルプリンタとして使いたい場合でもネットワークで使いたい場合にも必ず指定しなければなりません。

HP-UXでのプリンタポートのデバイス名は下記のようになります。

OS	デバイス名
HP-UX9.x	/dev/ptr_parallel
HP-UX10.x~	/dev/c1t0d0_lp /dev/lp

これらはマシン構成によって異なります。 `ls /dev/*lp` と実行することでデバイス名が分かる場合もあります。

ネットワークプリンタとして使用する場合でも上記のデバイス名を必ず入力して下さい。

installシェルスクリプトでのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

HP-UXでの注意

HP-UX10.xでパラレルポートに接続されたプリンタへ出力する場合、は標準状態で一部のプリンタで正常に出力されない場合があります。これはHP-UX10.xシステムのプリンタデバイスのハンドシェイクの方法に問題があります。

モード	説明
1	nACKおよびBUSY回線を使用するハンドシェイク
2	BUSY回線のみを使用するハンドシェイク
3	ScanJetサポートのための双方向性読み込み / 書き込み
4	ストリーム・モード、 <code>setup=1 usec</code> 、 <code>hold=1 usec</code> 、このモードはTektronix (Phasor, その他) プリンタによって通常使用される
5	パルス・モード、モード1と同様だが、 <code>nSTROBE</code> が1 usec (マイクロ秒)
6	パルス・モード、モード2と同様だが、 <code>nSTROBE</code> が1 usec (マイクロ秒)

これらのモードは参考のためのみです。サポート対象外です。

もしインストール完了後に印刷を実行して、プリンタ側へデータが全く送信されていないならば上記のモードが異なる可能性があります。

現在、確認されているモード変更が必要なプリンタは

EPSON PM-3000C
EPSON PM-770C
CANON LBP-730PS

これら以外のプリンタでも受信されない場合があります。

HP-UX10.xではデフォルトでモード2となっているようです。上記プリンタではモード4又はモード6に変更することで出力が可能となります。

モード変更方法は、
まず、スーパーユーザになり、mknodを使用してデバイス特殊ファイルを作成します。
ここでは既に /dev/c1t0d0_lp というプリンタ用デバイスがありますので、モード1 ,
3 ~ 6までのプリンタデバイスを作成します。

```
# /usr/sbin/mknod /dev/c1t0d0_lp1 c 216 0x010001  
# /usr/sbin/mknod /dev/c1t0d0_lp3 c 216 0x010003  
# /usr/sbin/mknod /dev/c1t0d0_lp4 c 216 0x010004  
# /usr/sbin/mknod /dev/c1t0d0_lp5 c 216 0x010005  
# /usr/sbin/mknod /dev/c1t0d0_lp6 c 216 0x010006
```

これらのうち、モード4は /dev/c1t0d0_lp4 なのでプリントフィルタをこのデバイスでインストールします。これで上記プリンタで出力が可能となります。

2.3 IRIXへのインストール

CD-ROM版

CD-ROM版からインストールする場合、CD-ROMドライブにCD-ROMを挿入するとIRIXシステムでは自動的に/CDROMにマウントされます。
自動的にマウントされない場合は SGI IRIXシステムのマニュアルを参照して下さい。
正常にマウントされたら下記のようにinstallシェルコマンドを実行してインストールします。

```
# cd /CDROM/IRIX6/UPF
# ./upfinstall
```

インストールの流れ

installシェルスクリプトを実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

UPF-COREと
UPF-EMJCの例

```
IRIS 11# ./upfinstall

UPF Package Installing Script Start

Enter temporary directory [default:/tmp]
? /tmp ← ワーク用ディレクトリを入力します。

Enter install media device [default:/dev/rdisk/fds0d2.3.5hi]
? /dev/. ← CD-ROM版の場合は"."を指定します。
tar: blocksize = 16

Copyright (c) 1995-1997 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter install directory [default:/opt]
? /opt ← UPFをインストールする場所を指定します。

Package Contents:
UPF-CORE          UNItEX Print Filter Core Tool
UPF-CBJC          CANON BJ-COLOR Print Filter
UPF-CBJF          Canon WonderBJ-F Seriese Print Filter
UPF-LIPS2         CANON LIPS-II Print Filter
UPF-LIPS3         CANON LIPS-III Print Filter
UPF-LIPS4         CANON LIPS-IV Print Filter
UPF-LIPSC        CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter
UPF-EMJC          EPSON MJ-COLOR Print Filter
UPF-EPM3          EPSON PM-3000C/770C Print Filter
UPF-EPM5          EPSON PM5000-COLOR Print Filter
UPF-ESCP          EPSON ESC/P-J83 Print Filter
UPF-ESCPG         EPSON ESC/Page Print Filter
UPF-EEPGC         EPSON ESC/PageColor Print Filter
UPF-PSC          Adobe Color PostScript Print Filter
```

```

Installing UPF-CORE (UNiteX Print Filter Core Tool)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← y を入力します。

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter core password [quit:q]? 010203040506
Enter core password [quit:q]? q ← q を入力します。

Input core password:
    010203040506

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-CORE ...
tar: blocksize = 16
x UPF/bin/setPasswd, 74652 bytes, 146 blocks
x UPF/bin/upftool, 938964 bytes, 1834 blocks
x UPF/bin/upftool.setup, 17472 bytes, 35 blocks
x UPF/bin/winclip, 21412 bytes, 42 blocks
x UPF/bin/xwd2img, 213972 bytes, 418 blocks
x UPF/lib/upftool.def, 2005 bytes, 4 blocks
done

Patching password ... done

Installing UPF-CBJC (CANON BJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-CBJF (Canon WonderBJ-F Serieese Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS2 (CANON LIPS-II Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS3 (CANON LIPS-III Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS4 (CANON LIPS-IV Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPSC (CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EMJC (EPSON MJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← インストールするので y と入力します。

ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter filter password [quit:q]? 090807060504
Enter filter password [quit:q]? q ← q を入力します。

Input filter password:
    090807060504

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

```

```

Installing UPF-EMJC ...
tar: blocksize = 16
x UPF/bin/upfemjcif, 644004 bytes, 1258 blocks
x UPF/bin/upfemjctf, 25508 bytes, 50 blocks
x UPF/doc/Readme.emjc, 2176 bytes, 5 blocks
x UPF/lib/interface/emjc, 1504 bytes, 3 blocks
x UPF/pdf/mj3000cu.pdf, 347 bytes, 1 block
x UPF/pdf/mj5000c.pdf, 340 bytes, 1 block
x UPF/pdf/mj700c.pdf, 290 bytes, 1 block
x UPF/pdf/mj800c.pdf, 329 bytes, 1 block
x UPF/pdf/mj900c.pdf, 329 bytes, 1 block
done

Patching password ... done

Entry LP print service [yes/y:no/n]? y

Input printer device(default: /dev/plp) ? /dev/plp
ライン・プリンタのスケジューラが止まっています

lpstat -vemjc
emjc 用デバイス: /dev/plp

emjc entry LP print service.
OK [yes/y:no/n]? y
指定先 'emjc' がリクエストを受理しようとしています
プリンタ 'emjc' は使用可能にしました。

Installing UPF-EPM3 (EPSON PM-3000C/770C Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EPM5 (EPSON PM5000-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCP (EPSON ESC/P-J83 Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCPG (EPSON ESC/Page Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EEPGC (EPSON ESC/PageColor Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-PSC (Adobe Color PostScript Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Package installing is successful.
IRIS 12#

```

プリンタを登録するので
y を入力します。

プリンタのデバイスを指定します。
IRIX6.2の場合は/dev/plpを指定して下さい。
これ以外はIRIXのマニュアルを参照して下さい。

y を入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

CD-ROM版の場合には全てのパッケージ名が表示されます。インストールするパッケージだけ `y` を入力してインストールして下さい。

インストール中に必ずプリンタポートのデバイス名を指定するように要求されます。

ローカルプリンタとして使いたい場合でもネットワークで使いたい場合にも必ず指定しなければなりません。

`install`シェルスクリプトでのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

2.4 AIXへのインストール

CD-ROM版 CD-ROM版からのインストールする場合には下記のようにCD-ROMをマウントし、installシェルコマンドを実行してインストールします。

```
# mount /dev/cd0
# cd /マウントポイント/aix4/UPF
# ./upfinstall
```

注意 [マウントポイント]はSMITで指定したマウントポイントになります。
詳しくは SMIT で

「システム記憶域管理（物理および論理記憶域）」

「ファイルシステム」

「ファイルシステムの追加 / 変更 / 表示 / 削除」

「CD - ROMファイルシステム」

「CD - ROMファイルシステムの追加」

を参照して下さい。

Floppy版 Floppy版からのインストールする場合には下記のように実行してインストールします。

```
# cd /tmp
# tar xvf /dev/rfd0.18 upfinstall
# ./upfinstall
```

インストールの流れ installシェルスクリプトを実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

UPF-COREと
UPF-EMJCの例

```
# ./upfinstall

UPF Package Installing Script Start

Enter temporary directory [default:/tmp]
? /tmp ← ワーク用ディレクトリを入力します。

Enter install media device [default:/dev/rfd0.18]
? /dev/. ← CD-ROM版の場合は"."を
Floppy版の場合は /dev/rfd0.18を
指定します。

Copyright (c) 1995-1997 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter install directory [default:/opt]
? /opt ← UPFをインストールする場所を指定します。

Package Contents:
UPF-CORE          UNItEX Print Filter Core Tool
UPF-CBJC          CANON BJ-COLOR Print Filter
UPF-CBJF          Canon WonderBJ-F Seriese Print Filter
UPF-LIPS2         CANON LIPS-II Print Filter
UPF-LIPS3         CANON LIPS-III Print Filter
UPF-LIPS4         CANON LIPS-IV Print Filter
UPF-LIPSC         CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter
UPF-EMJC          EPSON MJ-COLOR Print Filter
UPF-EPM3          EPSON PM-3000C/770C Print Filter
UPF-EPM5          EPSON PM5000-COLOR Print Filter
UPF-ESCP          EPSON ESC/P-J83 Print Filter
UPF-ESCPG         EPSON ESC/Page Print Filter
UPF-EEPGC         EPSON ESC/PageColor Print Filter
UPF-PSC           Adobe Color PostScript Print Filter
UPF-PX           Adobe PostScript Print Filter for Super-
PLEX3

Installing UPF-CORE (UNItEX Print Filter Core Tool)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← y を入力します。

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パス
ワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter core password [quit:q]? 010203040506 ←
Enter core password [quit:q]? q ← q を入力します。
```

```

Input core password:
010203040506

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-CORE ...
x UPF/bin/setPasswd, 61751 バイト, 121 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool, 957998 バイト, 1872 テープ・ブロック
x UPF/bin/winclip, 28769 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/bin/xwd2img, 259012 バイト, 506 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool.setup, 17472 バイト, 35 テープ・ブロック
x UPF/lib/upftool.def, 2086 バイト, 5 テープ・ブロック
done

Patching password ... done

Installing UPF-CBJC (CANON BJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-CBJF (Canon WonderBJ-F Seriese Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS2 (CANON LIPS-II Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS3 (CANON LIPS-III Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPS4 (CANON LIPS-IV Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-LIPSC (CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EMJC (EPSON MJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← インストールするので y と入力します。

ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter filter password [quit:q]? 090807060504
Enter filter password [quit:q]? q ← q を入力します。

Input filter password:
090807060504

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-EMJC ...
x UPF/bin/upfemjcif, 686267 バイト, 1341 テープ・ブロック
x UPF/bin/upfemjctf, 28802 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/lib/interface/emjc, 1532 バイト, 3 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj5000c.pdf, 340 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj3000cu.pdf, 347 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj900c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj800c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj700c.pdf, 290 バイト, 1 テープ・ブロック

```



```

x UPF/doc/Readme.emjc, 1819 バイト, 4 テープ・ブロック
done

Patching password ... done

Entry LP print service [yes/y:no/n]? y

Input printer device(default: /dev/lp0) ? /dev/lp0

Installing UPF-EPM3 (EPSON PM-3000C/770C Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EPM5 (EPSON PM5000-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCP (EPSON ESC/P-J83 Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-ESCPG (EPSON ESC/Page Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-EEPGC (EPSON ESC/PageColor Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-PSC (Adobe Color PostScript Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Installing UPF-PX (Adobe PostScript Print Filter for SuperPLEX3)
[yes:y/no:n/quit:q]? n

Package installing is successful.
#

```

プリンタを登録するので y を入力します。

プリンタのデバイスを指定します。
既に /dev/lp0 を使用してプリンタを登録している場合はこのプリンタデバイスを削除してから、このinstallシェルスクリプトを実行する必要があります。このプリンタデバイスを削除せずに install シェルスクリプトを実行しプリンタを登録すると正常に印刷できない場合があります。UPFでは /dev/lp0 のデバイスしか利用できません。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

インストールしないパッケージは n と入力します。

CD-ROM版の場合には全てのパッケージ名が表示されます。インストールするパッケージだけ y を入力してインストールして下さい。Floppy版では購入したパッケージ名のみ表示されます。

インストール中に必ずプリンタポートのデバイス名を指定するように要求されます。ローカルプリンタとして使いたい場合でもネットワークで使いたい場合にも必ず指定しなければなりません。AIX版では固定で /dev/lp0 のプリンタデバイスを使用します。

ネットワークプリンタとして使用する場合でも上記のデバイス名を必ず入力して下さい。

installシェルスクリプトでのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

2.5 UnixWare7へのインストール

CD-ROM版

CD-ROM版からのインストールする場合にはまずCD-ROMをマウントし pkgadd コマンドでインストールします。

CD-ROMのマウント方法はUnixWare7のマニュアルを御覧下さい。

```
# pkgadd -d /マウントポイント/UnixWare7/UPF パッケージ名
```

パッケージ名は購入されたUPFパッケージを指します。例えば、UPF-COREとUPF-LIPS4を購入された場合には下記のようにそれぞれ pkgadd コマンドでインストールします。

```
# pkgadd -d /マウントポイント/UnixWare7/UPF UPF-CORE
# pkgadd -d /マウントポイント/UnixWare7/UPF UPF-LIPS4
```

インストールの流れ

pkgadd を実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

UPF-COREの例

```
# pkgadd -d /マウントポイント/UnixWare7/UPF UPF-CORE

</マウントポイント/UnixWare/UPF> 中のパッケージインスタンス <UPF-CORE> を
処理中です。

UNItEX Print Filter Core Tool
(i386) 2.2

Copyright (c) 1995-1996 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItex JAPAN and its licensors, if any.

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パス
ワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter passwd [?,q] 010203040506

パッケージのベースディレクトリのパス名を入力してください。 [?,q] /opt

Using </opt> as the package base directory.
## パッケージ情報を処理中です。
## システム情報を処理中です。
## ディスク領域の要件を確認中です。
## すでにインストール済みのパッケージとの重複を確認中です。
## setuid/setgid を行うプログラムを検査中です。

This package contains scripts which will be executed with
```

UPFをインストールする場所を指定します。

```

super-user
permission during the process of installing this package.

Do you want to continue with the installation of <UPF-CORE>
[y,n,?] y ← y を入力します。

UNItEX Print Filter Core Tool を <UPF-CORE> としてインストール中です。

## 1/1 部分をインストールしています。
3220 blocks
## postinstall スクリプトを実行中です。

Installation of <UPF-CORE> was successful.
#

```

UPF-EMJCの例

```

# pkgadd -d /マウントポイント/UnixWare7/UPF UPF-EMJC

</マウントポイント/UnixWare7/UPF> 中のパッケージインスタンス <UPF-EMJC> を
処理中です。

EPSON MJ-COLOR Print Filter
(i386) 2.2

Copyright (c) 1995-1996 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter printer device(default: /dev/term/a) [?,q] /dev/lp
      プリンタのデバイス名を指定します。
Enter filter passwd [?,q] 010203040506
      ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パス
      ワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

パッケージのベースディレクトリのパス名を入力してください。 [?,q] /opt
Using </opt> as the package base directory.
## パッケージ情報を処理中です。
## システム情報を処理中です。
## パッケージの依存関係を検査しています。
## ディスク領域の要件を確認中です。
## すでにインストール済みのパッケージとの重複を確認中です。
## setuid/setgid を行うプログラムを検査中です。

This package contains scripts which will be executed with super-
user
permission during the process of installing this package.

Do you want to continue with the installation of <UPF-EMJC>
[y,n,?] y ← y を入力します。
      UPFをインストールする
      場所を指定します。

```

```
EPSON MJ-COLOR Print Filter を <UPF-EMJC> としてインストール中です。

## 1/1 部分をインストールしています。
1950 blocks
## postinstall スクリプトを実行中です。
destination "emjct" now accepting requests
printer "emjct" now enabled
destination "emjci" now accepting requests
printer "emjci" now enabled

Installation of <UPF-EMJC> was successful.
#
```

UPF-CORE以外のパッケージをインストールすると必ずプリンタポートのデバイス名を指定するように要求されます。ローカルプリンタとして使いたい場合でもネットワークで使いたい場合にも必ず指定しなければなりません。

UnixWare7でのプリンタポートのデバイス名はここでは /dev/lp としていますが、実際にはマシン構成により異なります。UnixWare7のマニュアルを参照して下さい。

ネットワークプリンタとして使用する場合でもプリンタのデバイス名も必ず入力して下さい。

pkgadd でのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

もしインストールに失敗した場合や、再度インストールする場合には pkgrm を使用してパッケージを削除したあと再インストールして下さい。

```
# pkgrm パッケージ名
```

2.6 EWS4800 UX/V へのインストール

Floppy版 Floppy版からのインストールする場合には下記のように実行してインストールします。

```
# cd /tmp
# tar xvf /dev/rif/f0h8
# ./install.sh パッケージ名
```

Floppyのデバイス名はマシンによって異なります。EWS4800 UX/Vのマニュアルを参照して下さい。

パッケージ名は購入されたUPFパッケージを指します。

例えば、UPF-COREとUPF-LIPS4を購入された場合には下記のようにインストールします。

```
# ./install.sh UPF-CORE
# ./install.sh UPF-LIPS4
```



EWS4800 UX/V の場合は、「LPスプーリングシステム」がシステムにインストールされていることを確認して下さい。「LPスプーリングシステム」がインストールされていない場合は、先にインストールを行って下さい。

インストールの流れ 「2.5.2 インストールの流れ」と同じような流れになります。

2.7 SunOSへのインストール

CD-ROM版 CD-ROM版からのインストールする場合には下記のようにCD-ROMをマウントし、installシェルコマンドを実行してインストールします。

```
# mkdir /cdrom
# mount -t hsfs -r /dev/sr0 /cdrom
# cd /cdrom/sunos4/UPF
# ./upfinstall
```

上記の `sr0` のデバイス名はマシンによって異なります。SunOSのマニュアルを参照して下さい。

Floppy版 Floppy版からのインストールする場合には下記のようにinstallシェルコマンドを実行してインストールします。

```
# cd /tmp
# tar xvf /dev/rfh0a upfinstall
# ./upfinstall
```

インストールの流れ installシェルスクリプトを実行すると下記のように表示されます。途中でパスワードの入力を要求しますので、申請したパスワードを入力して下さい。

```
# ./upfinstall

UPF Package Installing Script Start

Enter temporary directory [default:/tmp]
? /tmp ← ワーク用ディレクトリを入力します。

Enter install media device [default:/dev/rfh0a]
? /dev/. ← CD-ROM版の場合は "." を
Floppy版の場合は /dev/rfh0a を
指定します。

Copyright (c) 1995-1997 UNItEX JAPAN CO., LTD

All rights reserved. This product and related documentaion
is protected by copyright and distributed under licenses
restricting its use, copying, distribution and decompilation.
No part of this product or related documentation may be
reproduced in any form by any means without prior written
authorization of UNItEX JAPAN and its licensors, if any.

Enter install directory [default:/usr/local]
? /usr/local ← UPFをインストールする場所を指定します。
```

```

Package Contents:
  UPF-CORE          UNItEX Print Filter Core Tool
  UPF-CBJC          CANON BJ-COLOR Print Filter
  UPF-CBJF          Canon WonderBJ-F Seriese Print Filter
  UPF-LIPS2         CANON LIPS-II Print Filter
  UPF-LIPS3         CANON LIPS-III Print Filter
  UPF-LIPS4         CANON LIPS-IV Print Filter
  UPF-LIPSC         CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter
  UPF-EMJC          EPSON MJ-COLOR Print Filter
  UPF-EPM3          EPSON PM-3000C/770C Print Filter
  UPF-EPM5          EPSON PM5000-COLOR Print Filter
  UPF-ESCP          EPSON ESC/P-J83 Print Filter
  UPF-ESCPG         EPSON ESC/Page Print Filter
  UPF-EEPGC         EPSON ESC/PageColor Print Filter
  UPF-PSC           Adobe Color PostScript Print Filter
  UPF-PX            Adobe PostScript Print Filter for Super-
PLEX3

```

```
Installing UPF-CORE (UNItEX Print Filter Core Tool)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? y
```

y を入力します。

ここに申請したUPF-COREのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

```
Enter core password [quit:q]? 010203040506
```

```
Enter core password [quit:q]? q
```

q を入力します。

```
Input core password:
```

```
010203040506
```

```
[yes:y/no:n]? y
```

y を入力します。

```
Installing UPF-CORE ...
```

```

x UPF/bin/setPasswd, 61751 バイト, 121 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool, 957998 バイト, 1872 テープ・ブロック
x UPF/bin/winclip, 28769 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/bin/xwd2img, 259012 バイト, 506 テープ・ブロック
x UPF/bin/upftool.setup, 17472 バイト, 35 テープ・ブロック
x UPF/lib/upftool.def, 2086 バイト, 5 テープ・ブロック
done

```

```
Patching password ... done
```

```
Installing UPF-CBJC (CANON BJ-COLOR Print Filter)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? n
```

インストールしないパッケージは n と入力します。

```
Installing UPF-CBJF (Canon WonderBJ-F Seriese Print Filter)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? n
```

インストールしないパッケージは n と入力します。

```
Installing UPF-LIPS2 (CANON LIPS-II Print Filter)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? n
```

インストールしないパッケージは n と入力します。

```
Installing UPF-LIPS3 (CANON LIPS-III Print Filter)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? n
```

インストールしないパッケージは n と入力します。

```
Installing UPF-LIPS4 (CANON LIPS-IV Print Filter)
```

```
[yes:y/no:n/quit:q]? n
```

インストールしないパッケージは n と入力します。

```

Installing UPF-LIPSC (CANON LIPS-IV(IVc) Color Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EMJC (EPSON MJ-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? y ← インストールするので y と入力します。

ここに申請したUPF-EMJCのパスワードを入力します。パスワードを入力しない場合はサンプル版として使用できます。

Enter filter password [quit:q]? 090807060504
Enter filter password [quit:q]? q ← q を入力します。

Input filter password:
    090807060504

[yes:y/no:n]? y ← y を入力します。

Installing UPF-EMJC ...
x UPF/bin/upfemjcif, 686267 バイト, 1341 テープ・ブロック
x UPF/bin/upfemjctf, 28802 バイト, 57 テープ・ブロック
x UPF/lib/interface/emjc, 1532 バイト, 3 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj5000c.pdf, 340 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj3000cu.pdf, 347 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj900c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj800c.pdf, 329 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/pdf/mj700c.pdf, 290 バイト, 1 テープ・ブロック
x UPF/doc/Readme.emjc, 1819 バイト, 4 テープ・ブロック
done

Patching password ... done

Installing UPF-EPM3 (EPSON PM-3000C/770C Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EPM5 (EPSON PM5000-COLOR Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-ESCP (EPSON ESC/P-J83 Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-ESCPG (EPSON ESC/Page Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-EEPGC (EPSON ESC/PageColor Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-PSC (Adobe Color PostScript Print Filter)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Installing UPF-PX (Adobe PostScript Print Filter for SuperPLEX3)
[yes:y/no:n/quit:q]? n ← インストールしないパッケージは n と入力します。

Package installing is successful.
#

```


CD-ROM版の場合には全てのパッケージ名が表示されます。インストールするパッケージだけ *y* を入力してインストールして下さい。Floppy版では購入したパッケージ名のみ表示されます。

ネットワークプリンタとして使用する場合でも上記のデバイス名を必ず入力して下さい。

installシェルスクリプトでのインストールが完了するとUPFのインストールは完了です。

ローカルプリンタの登録

インストールしたプリントフィルタを使ってローカルプリンタ（直接接続されているプリンタ）に出力したい場合は、SunOSシステムにプリントキューを作成する必要があります。プリントキューはコンソール又はコマンドツールやシェルツールから作成します。



これから作成するプリントキューはデータを加工せずに受け取ったデータをそのままプリンタへ出力するようなプリントキューの作成方法です。したがって、Netscapeやその他のアプリケーションから出力する場合、例えばNetscapeから「印刷」をこのプリントキューに要求しても印刷はできません。

プリントキューを作成する場合はまず `printcap` に登録するスプールディレクトリを作成します。

LP8000の例

例としてプリンタLP8000用のスプールディレクトリを作成する場合を記載します。

```
# mkdir /var/spool/lpd
# chown root lp8000
# chgrp root lp8000
# chmod 0755 lp8000
```

システムによっては上記のスプールディレクトリが `/var/spool` ではなく `/usr/spool` の場合もありますので、注意して下さい。

エラーログファイル

エラーログ・ファイルを記録したい場合は `touch` などを使って空のファイルを作成しておきます。必要のない場合は作成しなくてもかまいません。

```
# touch /var/log/lp8000.err
```

`/etc/printcap`

`/etc/printcap` にプリンタキューのエントリを作成します。

```
# vi /etc/printcap
```

```
lp8000:\                               「プリントキューの名称」
:lp=/dev/lp0:\                          「プリンタポートのデバイス」
:sd=/var/spool/lpd/lp8000:\             「先程作成したスプールディレクトリ」
:lf=/var/log/lp8000.err:\              「先程作成したエラーログファイル」
:sh: \
:sf: \
:mx#0:
```

/etc/printcap にエントリを追加したらマシンを再起動することで利用可能となります。



EPSON PM-5000C/3000C等の一部のプリンタでは上記設定では正常に印刷できない場合があります。これは双方向をサポートしたプリンタで /etc/printcap に双方向の指定を追加することで出力が可能となります。

「:sh:」、「:sf:」のように「:rw:」を追加することで解消されます。

2.8 Linuxへのインストール

CD-ROM版

CD-ROM版からのインストールする場合には下記のようにCD-ROMをマウントし、rpm コマンドを実行してインストールします。

```
# mount -t iso9660 -r /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /mnt/cdrom/linux/RPMS/i386
# rpm -i パッケージファイル名
```

パッケージファイル名は購入したパッケージのファイル名となります。下記の一覧に従って指定して下さい。例えば、UPF-COREとUPF-EPM3を購入した場合は以下のように指定してインストールします。

```
# rpm -i UPF-CORE-2.2-1.i386.rpm
# rpm -i UPF-EPM3-2.0-1.i386.rpm
```



パッケージをインストールする場合は必ず UPF-COREを最初にインストールして下さい。

パッケージファイル名一覧

名称	パッケージ名	パッケージファイル名
UPFコア (本体)	UPF-CORE	UPF-CORE-2.2-1.i386.rpm
キヤノンBJフィルタ	UPF-CBJC	UPF-CBJC-2.2-1.i386.rpm
キヤノンWonderBJ-Fフィルタ	UPF-CBJF	UPF-CBJF-2.0-1.i386.rpm
エプソンMJフィルタ	UPF-EMJC	UPF-EMJC-2.2-1.i386.rpm
エプソンPHOTO-MACHJET3 フィルタ	UPF-EPM3	UPF-EPM3-2.0-1.i386.rpm
エプソンPHOTO-MACHJET5 フィルタ	UPF-EPM5	UPF-EPM5-2.0-1.i386.rpm
エプソンESC/Pageフィルタ	UPF-ESCPG	UPF-ESCPG-2.2-1.i386.rpm
エプソンESC/PageColor フィルタ	UPF-EEPGC	UPF-EEPGC-2.0-1.i386.rpm
エプソンESC/Pフィルタ	UPF-ESCP	UPF-ESCP-2.2-1.i386.rpm
キヤノンLIPS-II+フィルタ	UPF-LIPS2	UPF-LIPS2-2.2-1.i386.rpm
キヤノンLIPS-IIIフィルタ	UPF-LIPS3	UPF-LIPS3-2.2-1.i386.rpm
キヤノンLIPS-IVフィルタ	UPF-LIPS4	UPF-LIPS4-2.2-1.i386.rpm
キヤノンLIPS-IVcフィルタ	UPF-LIPSC	UPF-LIPSC-2.2-1.i386.rpm
Adobe PostScriptフィルタ	UPF-PS	UPF-PS-2.2-1.i386.rpm
Adobe カラーPostScript フィルタ	UPF-PSC	UPF-PSC-2.2-1.i386.rpm

パッケージファイル名はバージョンによって若干異なる場合があります。

パスワードの設定

Linuxの場合、rpmコマンドでインストールした後にパスワードの設定を行います。
添付のプロダクトID（製品ID）の下6桁の数字と申請したパスワードを入力します。

例として下記構成の場合のインストール及びパスワード設定の流れを示します。

製品ID : UPF123456
 パスワード : 010203040506
 購入フィルタ : UPF-COREとUPF-EPM3

```
# mount -t iso9660 -r /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /mnt/cdrom/Linux/RPMS/i386
# rpm -i UPF-CORE-2.2-1.i386.rpm
# rpm -i UPF-EPM3-2.0-1.i386.rpm
# cd /usr/local/UPF/bin
# ./upf.setup

UPF application setup menu

1) Set password
2) UPFTOOL setup

0) exit

input number ? 1 ← [パスワードの設定を行うので 1 を入力します。]

Set password menu

1) UPF-CORE
2) UPF-EPM3
0) return menu
input number ? 1 ← [UPF-COREのパスワードを設定するので 1 を入力します。]

Enter Product ID ? 123456 ← [製品ID（プロダクトID）と申請したUPF-COREのパスワードを入力します。]
Enter UPF-CORE password ? 010203040506

1) UPF-CORE
2) UPF-EPM3
0) return menu
input number ? 2 ← [UPF-EPM3のパスワードを設定するので 2 を入力します。]

Enter UPF-EPM3 password ? 010203040506 ← [申請したUPF-EPM3のパスワードを入力します。]

1) UPF-CORE
2) UPF-EPM3
0) return menu

input number ? 0 ← [終了するので 0 を入力します。]

#
```

ローカルプリンタの登録

インストールしたプリントフィルタを使ってローカルプリンタ（直接接続されているプリンタ）に出力したい場合は、Linuxシステムにプリントキューを作成する必要があります。それぞれのディストリビューションに付属している印刷ツール（TurboLinuxの場合は `turboprintcfg`、RedHatLinuxの場合は `printtool`）やコンソールからプリントキューを作成できます。



これから作成するプリントキューはデータを加工せずに受け取ったデータをそのままプリンタへ出力するようなプリントキューの作成方法です。したがって、Netscapeやその他のアプリケーションから出力する場合、例えばNetscapeから「印刷」をこのプリントキューに要求しても印刷はできません。

コンソールから作成

コンソールから作成する場合はまず `printcap` に登録するスプールディレクトリを作成します。例としてプリンタLP8000用のスプールディレクトリを作成する場合を記載します。

```
# mkdir /var/spool/lpd
# chown root lp8000
# chgrp root lp8000
# chmod 0755 lp8000
```

システムによっては上記のスプールディレクトリが `/var/spool` ではなく `/usr/spool` の場合もありますので、注意して下さい。

エラーログ・ファイルを記録したい場合は `touch` などを使って空のファイルを作成しておきます。必要のない場合は作成しなくてもかまいません。

```
# touch /var/log/lp8000.err
```

`/etc/printcap`

`/etc/printcap` にプリンタキューのエントリを作成します。

```
# vi /etc/printcap
```

```
lp8000:\                「プリントキューの名称」
:lp=/dev/lp0:\         「プリンタポートのデバイス」
:sd=/var/spool/lpd/lp8000:\ 「先程作成したスプールディレクトリ」
:lf=/var/log/lp8000.err:\ 「先程作成したエラーログファイル」
:sh: \
:sf: \
:mx#0:
```

`/etc/printcap` にエントリを追加したらマシンを再起動することで利用可能となります。



EPSON PM-5000C/3000C等の一部のプリンタでは上記設定では正常に印刷できない場合があります。これは双方向をサポートしたプリンタで `/etc/printcap` に双方向の指定を追加することで出力が可能となります。

「:sh:」、「:sf:」のように「:rw:」を追加することで解消されます。

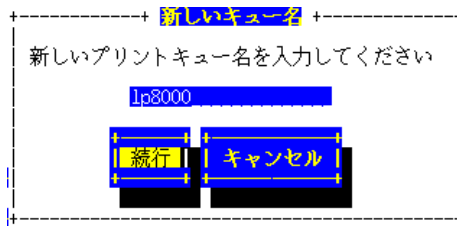
turboprintcfgから
作成 (TurboLinux)

TurboLinuxではプリンタ設定ツールとして turboprintcfg があります。このツールで
作成する場合には下記のように設定して下さい。以下はTurboLinux6.0の場合です。

まずターミナルやメニュー等からturboprintcfgを起動します。



「追加」を選択して「ローカルプリンタ」を選択し、新しいプリンタ名を入力します。



「続行」を選択して、プリンタ設定を行います。ここでは特に何も設定しません。このまま
「OK」を選択します。



メインに戻ったらそのまま「保存して終了」を選択し終了します。

turboprintcfg で設定したら設定された /etc/printcap を下記のように変更します。

```
#
# /etc/printcap - Printer definition file.
# Generated by printconfig v1.1.3
# Do not edit by hand unless you know what you
# are doing. The file format is very important
# and needs to be strictly maintained. See the
# manpage for printcap(5) for more information
# on the format of this file.
#

##PRINTTOOL3## LOCAL TEXT 300x300 a4 {} Unknown Default {}
lp8000:\
    :sd=/var/spool/lpd/lp8000:\
    :mx#0:\
    :sh:\
    :lp=/dev/lp0:\
    :if=/var/spool/lpd/lp8000/filter:
```

これを下記のように「:if=」の後ろを削除して「:sf:」を追加します。

EPSON PM-5000C/3000Cの場合は「2.8.3.1」の注意にも記載しましたが「:rw:」も追加して下さい。

```
##PRINTTOOL3## LOCAL TEXT 300x300 a4 {} Unknown Default {}
lp8000:\
    :sd=/var/spool/lpd/lp8000:\
    :mx#0:\
    :sh:\
    :lp=/dev/lp0:\
    :if=:\
    :sf:
```

これでマシンを再起動すると利用可能になります。

printtoolで作成
(RedHatLinux)

RedHatLinuxではプリンタ設定ツールとして printtool があります。このツールで作成する場合には下記のように設定して下さい。以下はRedHatLinux6.1の場合です。

まず、ターミナルやメニューからprinttoolを起動します。

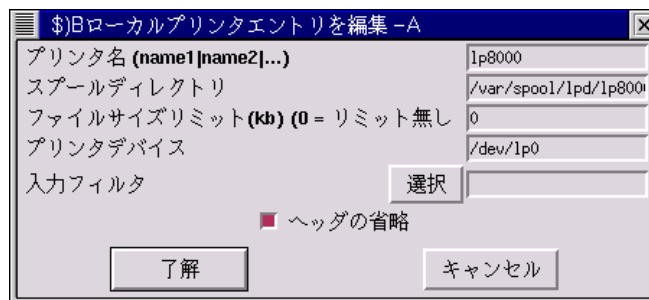


「追加」を選択し、「ローカルプリンタ」を選択します。



「了解」を選択すると、ローカルプリンタの編集が表示されますので、「プリンタ名」のみを入力します。

「入力フィルタ」の欄には何も指定しないでください。指定すると印刷ができなくなります。



printtool で設定したら設定された /etc/printcap を下記のように変更します。

```
##PRINTTOOL3## LOCAL
lp8000:\
    :sd=/var/spool/lpd/lp8000:\
    :mx#0:\
    :sh:\
    :lp=/dev/lp0:\
:sf:
```

これでマシンを再起動すると利用可能になります。

第 3 章

環境変数の設定

環境変数の設定

UPFを手軽に使えるように環境変数を設定します。

各ログインアカウント毎に環境変数PATHにUPFを登録しておくことで絶対パスを指定しなくてもフィルタプログラムを起動できます。

下記では各シェル毎の設定方法について記載してありますが、現在のシェルが分からない場合には、下記コマンドを実行することで分かります。

```
# env | grep SHELL
      又は
# echo $shell
```

また、記載されてある「/opt/UPF/bin」はUPFをインストールした場所のbinディレクトリを意味しています。/usr/local/UPF等のように別の場所へインストールした場合には/usr/local/UPF/binのように置き換えて設定して下さい。

3.1 cshを使用している場合の設定

ホームディレクトリの .cshrc ファイルに次の行を追加します。

```
set path = (/opt/UPF/bin $path)
```

追加したら、再度ログインすることで有効となります。

3.2 shを使用している場合の設定

ホームディレクトリの .profile ファイルに次の行を追加します。

```
PATH=/opt/UPF/bin:$PATH
```

追加したら、再度ログインすることで有効となります。

3.3 bashを使用している場合の設定

ホームディレクトリの .bashrc ファイルに次の行を追加します。

```
PATH=/opt/UPF/bin:$PATH
```

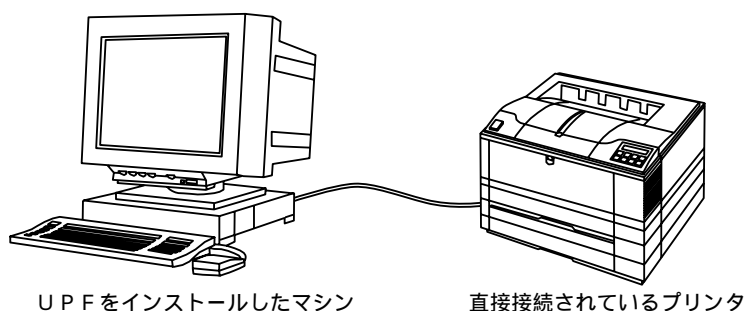
追加したら、再度ログインすることで有効となります。

第 4 章

プリンタの設定

プリンタの設定

4.1 ローカル プリンタ



UPFをインストールした時点でローカルプリンタの設定は完了していますが、この状態で印刷しても正常に印刷されない場合があります。これはプリンタ側の設定によるもので、プリンタ側を再設定することで正常に印刷できるようになります。

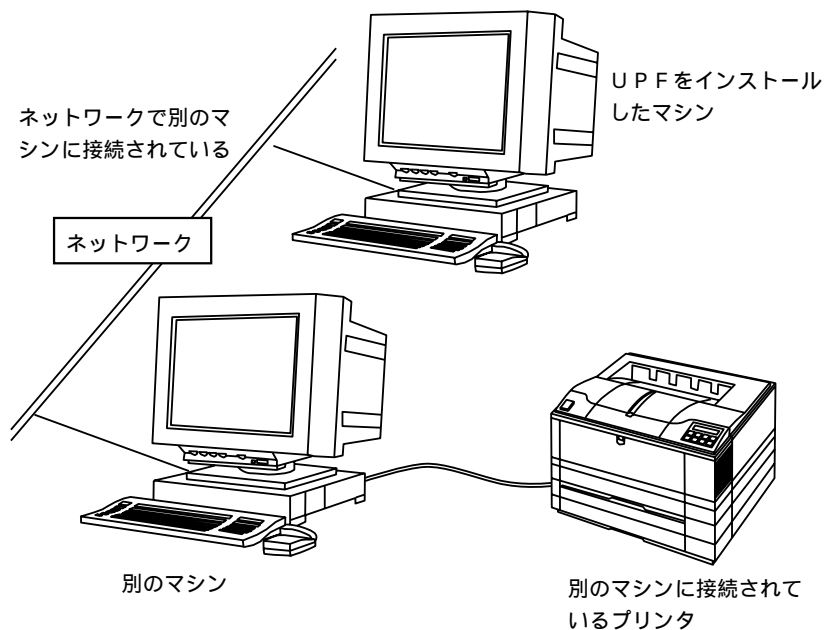
Canon社製レーザープリンタをLIPSで利用する場合

プリンタのパネルから「優先エミュレーション」又は「動作モードメニュー」を選択し、「LIPS」へ設定して下さい。このモードがLIPSでない場合にはUPF-LIPSのフィルタで印刷できない場合があります。

EPSON社製レーザープリンタをESC/Pageで利用する場合

プリンタのパネルから「プリンタモード」を選択し、「ESC/Page」へ設定して下さい。このモードがESC/Pageでない場合にはUPF-ESCPGやUPF-EEPGCのフィルタで印刷できない場合があります。

4.2 リモート
プリンタ



リモートプリンタとは、UPFをインストールしたマシンには接続されておらず、別のマシンに接続されているプリンタのことを指します。ここではこのリモートプリンタにネットワークを介して印刷する場合の設定方法について記載します。

リモート側の
プリンタ設定

リモート側ではプリンタに直接データを印刷するようなスルー（データを直接プリンタに出力）のプリントキューを作成します。各OSでスルーのプリントキューの作成方法を記載します。

Solarisの場合 リモート側（別のマシン側）がSolarisの場合には、`admintool`もしくは`printmgr`を使用してスルー（データを直接プリンタへ送る）のプリントキューを作成します。（Solaris10からは`admintool`はありません。`printmgr`を使用して下さい。）

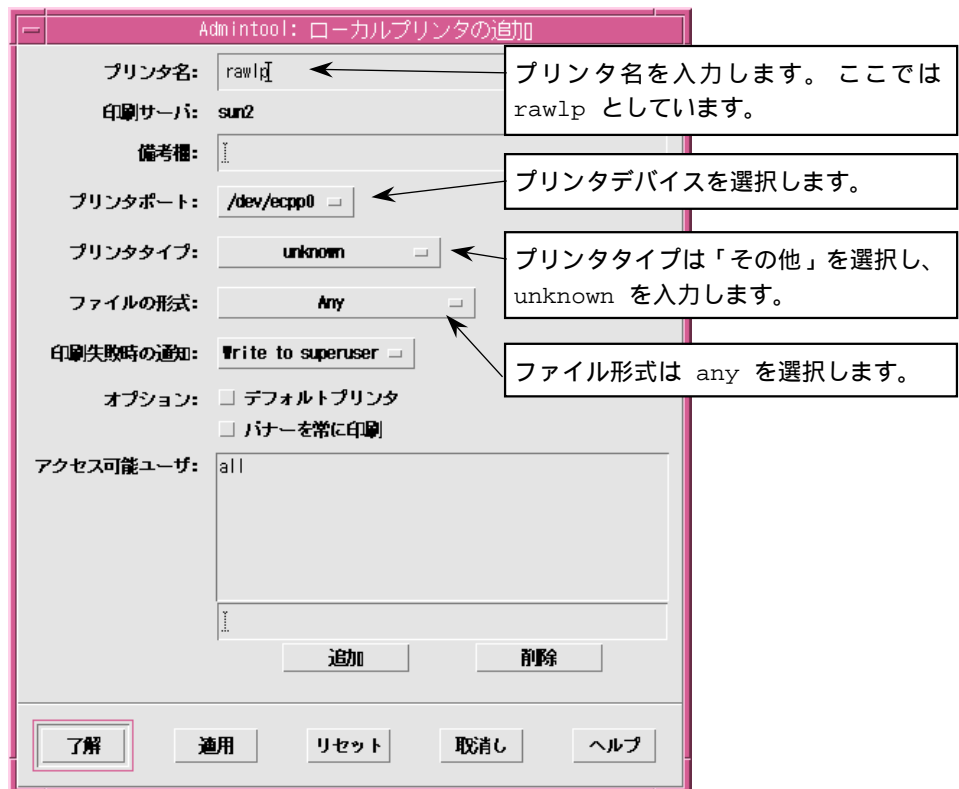
admintool スーパーユーザで `admintool` を起動します。

```
# admintool
```

起動したら「ブラウザ」メニューから「プリンタ」を選択し、「追加」->「ローカルプリンタ」を選びます。



プリンタの追加では下記のように設定します。

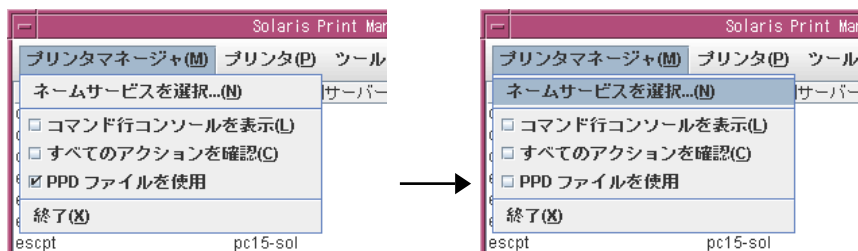


リモート側ではこれでプリンタの登録完了です。

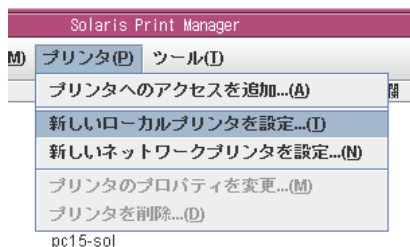
`printmgr` スーパーユーザで `printmgr` を起動します。

```
# printmgr
```

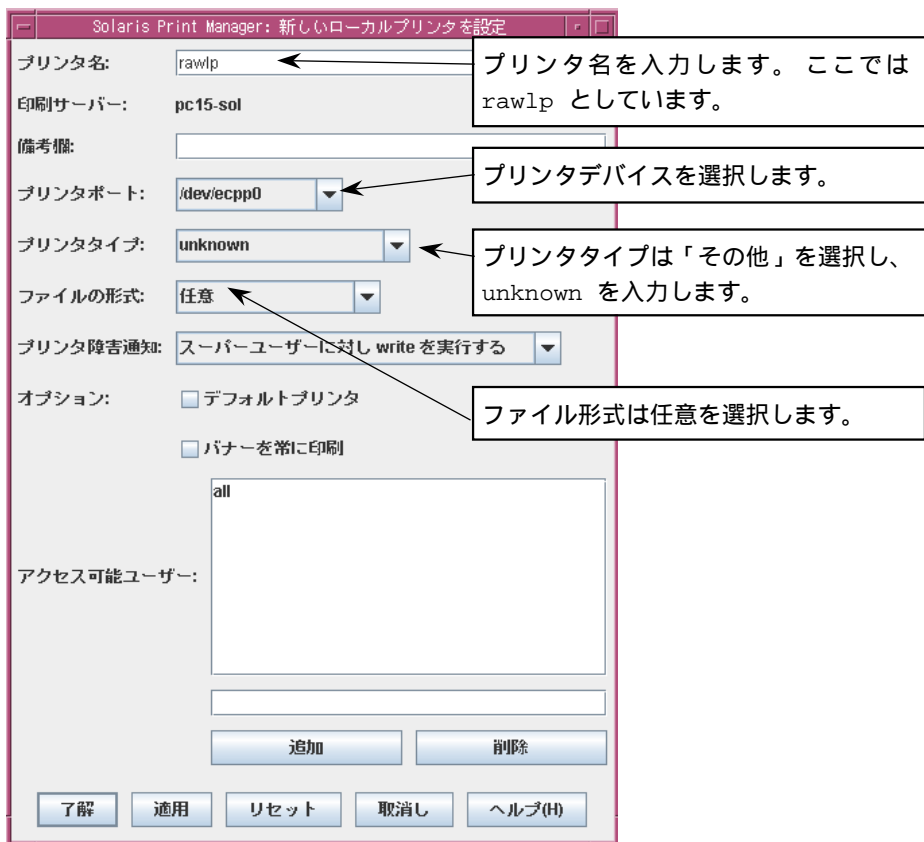
起動したら「プリンタマネージャ」メニューから「PPDファイルを使用」のチェックを外します。



次に「プリンタ」メニューから「新しいローカルプリンタを設定...」を選択します。



表示されたら下記のように設定します。

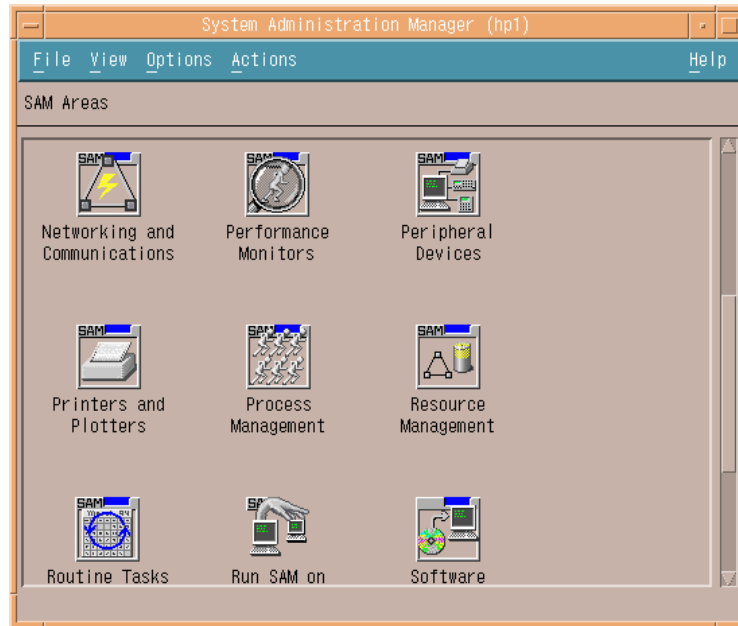


リモート側ではこれでプリンタの登録完了です。

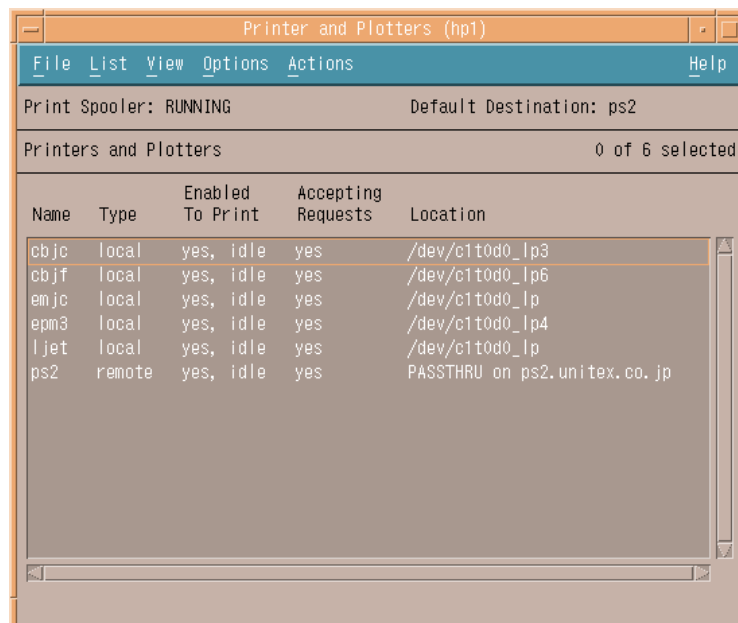
HP-UXの場合 リモート側（別のマシン側）がHP-UXの場合には、SAMを使用してスルー（データを直接プリンタへ送る）のプリントキューを作成します。
 まず、スーパーユーザで SAM を起動します。
 （ここではHP-UX11でのSAM実行画面を例として記載します。）

```
# sam
```

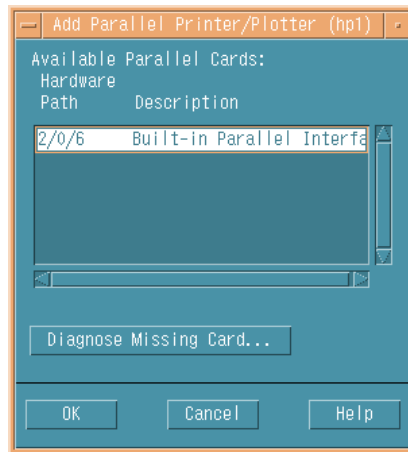
起動したらメインパネルから「Printers and Plotters」アイコンを選択し、「LP Spooler」を選択し、「Printers and Plotters」を選択します。



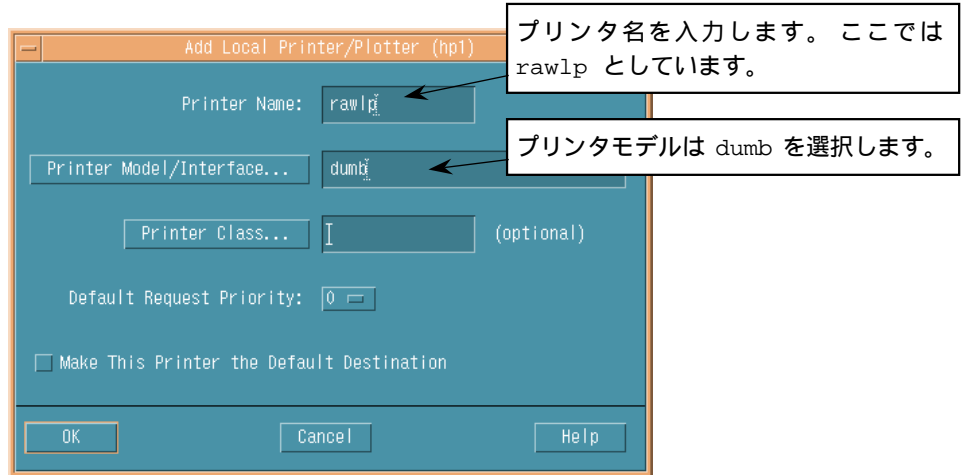
プリンタの情報が表示されますので、「Actions」メニューから「Add Local Printer/Plotter」->「Add Parallel Printer/Plotter ...」を選択します。



パラレルポートのデバイスを選択して「OK」を押します。



下記のようにプリンタ情報を設定します。



「OK」を選択すると、リモート側ではこれでプリンタの登録完了です。

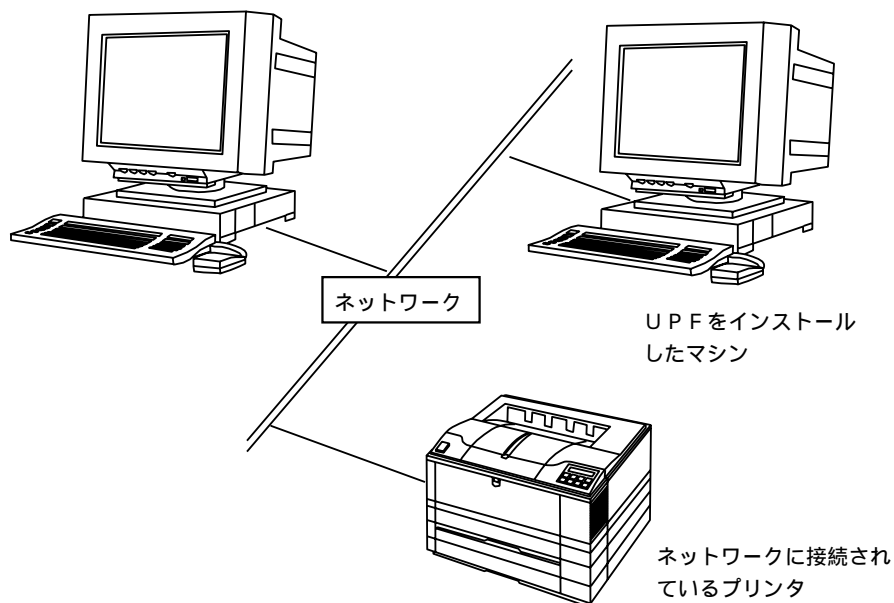
SunOS の場合 リモート側（別のマシン側）がSunOSの場合には、「第2章 インストール」の「2.7 SunOSへのインストール」に記載されてあるローカルプリンタの登録と同じ方法で登録します。

Linux の場合 リモート側（別のマシン側）がLinuxの場合には、「第2章 インストール」の「2.8 Linuxへのインストール」に記載されてあるローカルプリンタの登録と同じ方法で登録します。

ローカル側のプリンタ設定 ローカル側では「4.3 ネットワークプリンタ」と同じようにプリントキューを作成します。したがってここでは説明いたしません。
「4.3 ネットワークプリンタ」の項目を参照し下記に置き換えて設定して下さい。

ネットワークプリンタ名	-->	リモート側のホスト名
ネットワークプリンタのIPアドレス	-->	リモート側のIPアドレス
MACアドレス	-->	必要ありません。 ARPによる設定は必要ありません
ネットワークプリンタのプリンタ名	-->	リモート側のプリンタ名
登録するプリンタ名	-->	remlpなど任意のプリンタ名

4.3 ネットワークプリンタ



ネットワークプリンタとは、UPFをインストールしたマシンには接続されておらず、ネットワーク上に独立して接続されているプリンタのことを指します。ここではこのネットワークプリンタに出力する場合の設定方法について記載します。

UPFでネットワークプリンタに出力する場合には、ネットワークプリンタとして登録する際に何もフィルタを指定せずに登録する必要があります。ネットワークプリンタはスルー（受け取ったデータをそのままプリンタへ送る）のプリンタとして登録する必要があります。

ここからのネットワークプリンタ登録方法はあくまでも参考例ですので詳しくは各プリンタ又はプリンタネットワークボードのマニュアルを参照して下さい。

下記のようなプリンタを登録することを前提として説明します。

ネットワークプリンタ名	nethost
ネットワークプリンタのIPアドレス	192.168.20.161
MACアドレス	00:80:92:00:11:0f
ネットワークプリンタのプリンタ名	lp
登録するプリンタ名	netpr

**ARPによる
IPアドレスの設定**

既にプリンタへIPアドレスが設定されている場合にはここでの設定は必要ではありません。ここで設定できなくてもプリンタのパネルで設定できるプリンタもありますので、もしプリンタ側で設定できる場合にはそちらで設定して下さい。

arpコマンドで指定したMACアドレスにIPアドレスを設定します。

```
( IPアドレス ) ( MACアドレス )  
# arp -s 192.168.20.161 00:80:92:00:11:0f temp  
# ping 192.168.20.161 ( 正常に設定されたかどうかチェック )
```

IPアドレスは必ずそのネットワーク環境の管理者に聞いて下さい。
MACアドレスはプリンタネットワークボードの背面もしくは自己診断印字及び製品マニュアル等で確認して下さい。MACアドレスがどうしても不明な場合には、UNIX側から設定することができませんので、WindowsやMac等からネットワークボードユーティリティなどで別途設定する必要があります。

**hostsファイル
の編集**

/etc/hosts ファイルにネットワークプリンタ名を登録します。

```
# vi /etc/hosts  
  
192.168.20.161 nethost <-- この行を追加する  
  
# ping nethost ( 正常に設定されたかどうかチェック )
```

Solarisの場合 Solarisのネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではSolaris2.6でのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

```
# /usr/sbin/lpshut                : スケジューラを停止
# /usr/sbin/lpsystem -t bsd nethost : プリントサーバを登録
                                      : プリントキューを作成
# /usr/sbin/lpadmin -p netpr -s nethost!lp
  ・ cshの場合は[!]の代わりに[¥!]又は[ \!]とする)
  ・ ネットワークプリンタのプリンタ名がない場合はネットワークプリンタ名
    のみでも可。例えば -s nethost
# /usr/lib/lpsched                : スケジューラを起動
```

これでネットワークプリンタ netpr の登録が完了しました。

HP-UXの場合 HP-UXのネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではHP-UX9.0でのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

```
# /usr/sbin/lpshut                : プリントスプーラを停止
# vi /etc/inetd.conf                : リモートスプーラを登録

printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
(追加されている場合は記述しません)

# /etc/inetd -c                    : inetdの再起動
                                      : ネットワークプリンタを登録
# /usr/lib/lpadmin -pnetpr -mrmodel \
  -ormnethost -orplp -ocmrcmodel \
  -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
# /usr/lib/accept netpr            : プリントキューを稼働
# /usr/bin/enable netpr           : プリントキューを有効
# /usr/lib/lpsched                : プリントスプーラを起動
```

これでネットワークプリンタ netpr の登録が完了しました。

IRIXの場合 IRIXのネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではIRIX6.2でのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

IRIXでは「BSD lprプリント・スプーリング・システム」をインストールしなければネットワークプリンタへ印刷できませんので、もしインストールされていなければインストールして下さい。

ネットワークプリンタとして登録する場合、IRIXでは「プリント・マネージャ」で登録できません。BSD lprサブシステムの `printcap` で登録します。

```
# vi /etc/printcap

netpr:\                               (1)
:lp:\                                  (2)
:rm=nethost:\                          (3)
:rp=lp:\                                (4)
:sd=/var/spool/lpd:\                   (5)
:lf=/var/adm/lpd-errs:\                (6)
:mx#0:
```

- (1) プリンタ名の記述
- (2) lp: プリンタを接続するためのデバイスファイル名
ネットワークプリンタの場合はこのように指定する必要はありません。
- (3) rm: リモートプリンタのホスト名
/etc/hosts に登録したネットワークプリンタ名
- (4) rp: リモートプリンタのプリンタ名
ネットワークプリンタのプリンタ名がない場合は指定する必要はありません。
- (5) sd: スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
- (6) lf: エラーログファイル。絶対パスで指定します。

登録したら一度マシンを再起動して下さい。再起動後に使用できるようになります。

これでネットワークプリンタ `netlpr` の登録が完了しました。

AIXの場合 AIXのネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではAIX4.2.1でのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

```
# ruser -a -p nethost          : プリントサーバを追加
# startsrc -s lpd              : リモートプリンタデーモン起動
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
# smit mkrque                  : smitでプリントキューの追加
smitを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目を移動します。
「接続タイプ」から「remote」を選択します。
「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。
「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します。
```

追加する待ち行列	netpr
リモートサーバのホスト名	nethost
リモートサーバ上の待ち行列	lp
リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ	BSD
リモートサーバ上のプリンタ名記述	任意のコメント

smitではなくコマンドラインにてプリンタを登録する場合は下記の手順にて追加します。

```
# mkque -q netpr -a"up = TRUE" -a"host = nethost" \
-a"s_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdshort" \
-a"l_statfilter = /usr/lib/lpd/bsdlong" \
-a"rp = lp"
# mkqudev -q netpr -d"@nethost" \
-a"backend = /usr/lib/lpd/rembak"
# accept netpr
# enable netpr
```

これでネットワークプリンタ netpr の登録が完了しました。

SVR4の場合 SVR4のネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではUnixWare7でのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

```
# lpsystem -t bsd nethost      : プリントサーバを登録
# lpadmin -p netpr -s nethost!lp : プリントキューを作成
    ・cshの場合は[!]の代わりに[¥!]又は[\!]とする)
    ・ネットワークプリンタのプリンタ名がない場合はネットワーク
      プリンタ名のみでも可。例えば -s nethost
# accept netpr
# enable netpr
```

これでネットワークプリンタ netpr の登録が完了しました。

Linux/SunOSの場合 Linux/SunOSのネットワークプリンタ登録は下記のように行います。

ここではLinuxでのネットワークプリンタの登録方法を例として記載します。

```
# vi /etc/printcap

netpr:\                               (1)
:lp:\                                  (2)
:rm=nethost:\                          (3)
:rp=lp:\                                (4)
:sd=/var/spool/netpr:\                 (5)
:lf=/var/spool/netpr/netpr_errs:      (6)
```

- (1) プリンタ名の記述
- (2) lp: プリンタを接続するためのデバイスファイル名
ネットワークプリンタの場合はこのように指定する必要はありません。
- (3) rm: リモートプリンタのホスト名
/etc/hosts に登録したネットワークプリンタ名
- (4) rp: リモートプリンタのプリンタ名
ネットワークプリンタのプリンタ名がない場合は指定する必要はありません。
- (5) sd: スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
- (6) lf: エラーログファイル。絶対パスで指定します。

```
# mkdir /var/spool/netpr                スプールディレクトリ作成
# touch /var/spool/netpr/netpr_errs    エラーログファイル作成
# chown -R root /var/spool/netpr       オーナーをrootに設定
# chgrp -R root /var/spool/netpr       グループをrootに設定
# /etc/rc.d/init.d/lpd stop            lpdデーモンの停止
# /etc/rc.d/init.d/lpd start           lpdデーモンの開始
```

これでネットワークプリンタ netlpr の登録が完了しました。

TurboLinuxやRedHatLinuxに付属しているツールで登録しても構いません。ただしその場合には「プリンタタイプ」や「入力フィルタ」を指定しないで下さい。指定すると印刷できません。

第 5 章

ツールの設定

5 ツールの設定

5.1 UPFTOOLの設定

UPFTOOLとはGUI (Graphic User Interface) 操作で各種イメージを画面に表示し、印刷位置等を設定してプリンタへ印刷するツールです。
これまでのUPFインストールでUPFTOOLは既にインストールされていますのでこれからUPFTOOLのセットアップを行います。

```
# cd /UPFインストールディレクトリ/UPF/bin
# ./upftool.setup
```

UPFインストールディレクトリはUPFをインストールした場所となります。
/optにインストールした場合は /opt/UPF/bin となります。

Linuxの場合は /usr/local/UPF/bin となります。

また、Linuxの場合は UPFTOOLセットアップはパスワードを設定したときのように ./upf.setup を起動し、メニューから「2) UPFTOOL setup」を選んで下さい。

UPFTOOLセットアップスクリプトを実行すると、最初にインストールしたディレクトリの入力を行います。

```
# ./upftool.setup
*****
*
*          upftool setup script          *
*
*****

Check print service of system ... done

**** LP print service (SYSTEM V REL.4.X) ****
Input install directory (default;/opt/UPF):

[quit:q]? /opt/UPF ← UPFをインストールした場所を指定します。
                    /OPTにインストールした場合は/opt/UPF,
                    /usr/localにインストールした場合は
                    /usr/local/UPFと指定して下さい。

Check install directory ...done
```



Linuxにて印刷システムをCUPSにしている場合、UPFTOOLの設定ができません。印刷システムをLPRngへ切り替えれば使用することが可能となります。

UPFTOOLにプリンタを登録しますので、「1. entry printer information (default)」を選択します。

```

***** LP print service (SYSTEM V REL.4.X) *****
Select handle command:

    1. entry printer information (default)
    2. delete printer information

    0. quit

? 1

Search printer name ... done
    
```

現在システムに登録されているプリンタが表示されますので、プリンタとフィルタを関連付けします。もしシステムにプリンタが登録されていない場合はこのセットアップスクリプトは強制終了します。

ここで表示されるプリンタはUPFインストールで自動的に登録されたプリンタと、ネットワークプリンタ又はリモートプリンタとして登録したプリンタ、そしてともとシステムに登録されているプリンタが表示されます。

表示されたプリンタで下記一覧のものはUPFインストールで自動的に登録されたローカル接続用のプリンタです。インストール時に選択したパッケージ及びOSによっては登録されないプリンタもあります。

UPFインストールで自動的に登録されるプリンタ

パッケージ名	イメージ/テキスト汎用プリンタ HP-UX, AIX, IRIX	イメージフィルタ専用プリンタ Solaris, UnixWare, EWS4800 UX/V	テキストフィルタ専用プリンタ Solaris, UnixWare, EWS4800 UX/V
UPF-CBJC	cbjc	cbjci	cbjct
UPF-CBJF	cbjf	cbjfi	
UPF-EMJC	emjc	emjci	emjct
UPF-EPM3	epm3	epm3i	
UPF-EPM5	epm5	epm5i	
UPF-ESCPG	escpg	escpgi	escpgt
UPF-EEPGC	escpgc	escpgci	escpgct
UPF-ESCP	escp	escpi	escpt
UPF-LIPS2	clips2	clips2i	clips2t
UPF-LIPS3	clips3	clips3i	clips3t
UPF-LIPS4	clips4	clips4i	clips4t
UPF-LIPSC	clips4c	clips4ci	clips4ct
UPF-PS	ps	psi	pst
UPF-PSC	ps	psi	pst

ここで例として「EPSON PM-3000C」(UPF-EPM3)のプリンタを登録する方法を記載します。

ネットワークプリンタの場合はネットワークプリンタの登録で登録したプリンタ名を指定します。ローカルプリンタの場合は上記で表示されたプリンタ名を指定します。ただし、SunOS及びLinuxのローカルプリンタはUPFインストール時に作成したローカルプリンタを指定して下さい。

```
Input printer name for image filter:

    epm3i clips4ci clips4ct

[quit:q]? epm3i
```

プリンタを指定すると、次にどのUPFフィルタを関連付けするかかれますので上記の場合だと、epm3 を指定します。

```
device for epm3i: /dev/ecpp0

Input filter type of image filter:

    cbjc
    cbjf
    clips2
    clips3
    clips4c
    clips4
    emjc
    epm3
    epm5
    escpgc
    escpg
    escp
    ps

[quit:q]? epm3
```

次にコメントの入力ですが、EPSON PM-3000Cなので、そのまま入力します。入力しなくても構いません。

```
Input comment (end of input is return key):
EPSON PM-3000C
```

最後に確認が表示されますので、y を入力し追加します。

```
***** Printer information contents *****
Printer Name      : epm3i
Filter Type      : epm3
Printer Connection : local
Destination      : /dev/ecpp0
Comment          : EPSON PM-3000C

The printer information file is updated.

O.K. [return key/quit:q]? y
```

メニューに戻りますので、0 を入力し終了します。

複数のプリンタを登録する場合は 1 を入力し同時にプリンタを登録して下さい。

```
***** LP print service (SYSTEM V REL.4.X) *****
Select handle command:

    1. entry printer information (default)
    2. delete printer information

    0. quit

? 0

upftool.setup script is finished.
#
```

いらなくなったプリンタを削除する場合は、メニューから「2. delete printer information」を選択すると下記のようなリストが表示されます。

```
*** /opt/UPF/lib/image.pif (5 entries) ***
[1]: escpi escp local /dev/ecpp0 EPSON ESC/P Local Printer
[2]: emjci emjc local /dev/ecpp0 EPSON MJ Local Printer
[3]: ps2 ps remote ps2 (as printer PASSTHRU) ADOBE PostScript Network Printer
[4]: cbjfi cbjf local /dev/ecpp0 CANON WonderBJ F6000/600/200/100
[5]: epm3i epm3 local /dev/ecpp0 EPSON PM-3000C

Input delete number [prev:p/next:n/quit:q]?
```

削除したいプリンタ番号を入力すると、確認メッセージが表示されますので y を入力します。

```
Input delete number [prev:p/next:n/quit:q]? 5

The entry delete from the printer information file.

O.K. [return key/quit:q]? y

Delete command is successful.
```



ここでのプリンタ削除はシステム上のプリンタを削除するものではありません。UPFTOOLが使用するプリンタを削除するという意味です。

5.2 環境変数の設定

UPFTOOLを使用する場合、各フィルタの定義ファイルが置かれている場所を指定しないと印刷設定などが行えません。

したがって、ここで環境変数 `UPFDIR` に設定します。また、記載されてある「`/opt/UPF`」はUPFをインストールした場所を意味しています。`/usr/local`等のように別の場所へインストールした場合には`/usr/local/UPF`のように置き換えて設定して下さい。

cshを使用している
場合の設定

ホームディレクトリの `.cshrc` ファイルに次の行を追加します。

```
setenv UPFDIR /opt/UPF
```

追加したら、再度ログインすることで有効となります。

shを使用している
場合の設定

ホームディレクトリの `.profile` ファイルに次の行を追加します。

```
UPFDIR=/opt/UPF  
export UPFDIR
```

追加したら、再度ログインすることで有効となります。

bashを使用している
場合の設定

ホームディレクトリの `.bashrc` ファイルに次の行を追加します。

```
UPFDIR=/opt/UPF
```

追加したら、再度ログインすることで有効となります。

第 6 章

印刷実行例

6 印刷例

UPFを利用した各OS別の印刷実行例を記載します。

(`sample.txt`は、テキストファイル、`sample.xwd`は、`xwd`コマンドにより作成されたイメージファイルです)

注意事項

- ・ネットワークプリンタに印刷する場合、`lp/lpr` コマンドには、コピー枚数のオプション指定ができません。
- ・ネットワークプリンタに印刷する場合、バナーページは印刷されません。

6.1 Solarisの場合

SolarisでUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjct sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjci sample.xwd
```

- ・`xwd`コマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjci
```

- ・B5サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjct -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjct -o nobanner sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjct -n 2 sample.txt
```

ネットワーク
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ (バブルジェット、インクジェットなど) に印刷する場合、1 ページ分のコピー枚数を印刷するには、1 ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

リモート
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -o nobanner
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -n 2
```

- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.2 HP-UXの場合

HP-UXでUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjc -o text sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjc -o image sample.xwd
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjc -o image
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjc -o text -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjc -o text -o nb sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjc -o text -n 2 sample.txt
```

ネットワーク
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

リモート プリンタへの印刷

- ・通常印刷（テキストファイル）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷（イメージファイル）

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B5サイズ用の用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -o nb
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -n 2
```

- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.3 IRIXの場合

IRIXでUPPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjc -o text sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjc -o image sample.xwd
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjc -o image
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjc -o text -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjc -o text -o nobanner sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjc -o text -n 2 sample.txt
```

ネットワークプリンタ
(netpr) への印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -P netpr
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lpr -P netpr
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lpr -P netpr
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lpr -P netpr
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lpr -P netpr
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lpr -P netpr
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lpr -P netpr
```

リモートプリンタ (netraw)への印刷

- ・通常印刷（テキストファイル）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -P netraw
```

- ・通常印刷（イメージファイル）

```
% cat sample.xwd | upfemjctf | lpr -P netraw
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjctf | lpr -P netraw
```

- ・B5サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lpr -P netraw
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lpr -P netraw
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lpr -P netraw
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -P netraw -o nobanner
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -P netraw -n 2
```


- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1 ページ分のコピー枚数を印刷するには、1 ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lpr -P netraw
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.4 AIXの場合

AIXでUPPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjc -o text sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjc -o image sample.xwd
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjc -o image
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjc -o text -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjc -o text -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjc -o text -o nobanner sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjc -o text -n 2 sample.txt
```

ネットワーク
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

リモート プリンタへの印刷

- ・通常印刷（テキストファイル）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷（イメージファイル）

```
% cat sample.xwd | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・B5サイズ用の用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -o nobanner
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -n 2
```

- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.5 UnixWare7の場合

UnixWare7でUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjct sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjci sample.xwd
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjci
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjct -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjct -o nobanner sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjct -n 2 sample.txt
```

ネットワーク
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

リモート プリンタへの印刷

- ・通常印刷（テキストファイル）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷（イメージファイル）

```
% cat sample.xwd | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・B5サイズ用の用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -o nobanner
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -n 2
```

- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1 ページ分のコピー枚数を印刷するには、1 ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.6 EWS4800 UX/V
の場合

EWS4800 UX/VでUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

ローカル
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% lp -d emjct sample.txt
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% lp -d emjci sample.xwd
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | lp -d emjci
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=B5 sample.txt
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% lp -d emjct -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% lp -d emjct -y paper=5 -y margin=5:10:15:20 sample.txt
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% lp -d emjct -o nobanner sample.txt
```

- ・コピー枚数を指定する

```
% lp -d emjct -n 2 sample.txt
```

ネットワーク
プリンタへの印刷

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```


- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・コピー枚数を指定する

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

リモート プリンタへの印刷

- ・通常印刷（テキストファイル）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c
```

- ・通常印刷（イメージファイル）

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lp -d mj5100c
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙の上下左右にマージン（余白）を指定する（上：5mm, 下：10mm, 左：15mm, 右：20mm）

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・用紙サイズ及び、マージン（余白）を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lp -d mj5100c
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -o nobanner
```

- ・コピー枚数を指定する（lpのオプションで指定する場合）

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lp -d mj5100c -n 2
```

- ・コピー枚数を指定する（フィルタのオプションで指定する場合）

非ページ・プリンタ（バブルジェット、インクジェットなど）に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lp -d mj5100c
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

6.7 SunOSの場合

SunOSでUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjcif | lpr -Pemjc
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjcif | lpr -Pemjc
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lpr -Pemjc
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lpr -Pemjc
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lpr -Pemjc
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc -h
```

注) ネットワークプリンタへの印刷時は、無効 (59ページの「注意事項」を参照)。

- ・コピー枚数を指定する (lprのオプションで指定する場合)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc -#2
```

注) ネットワークプリンタへの印刷時は、無効 (59ページの「注意事項」を参照)。

- ・コピー枚数を指定する (フィルターのオプションで指定する場合)

非ページ・プリンタ (バブルジェット、インクジェットなど) に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lpr -Pemjc
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

lpr プリント・サービスのオプションの詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

LinuxでUPFを使用する場合の印刷例を記載します。

- ・通常印刷 (テキストファイル)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc
```

- ・通常印刷 (イメージファイル)

```
% cat sample.xwd | upfemjctf | lpr -Pemjc
```

- ・xwdコマンドを使用して直接印刷する

```
% xwd | upfemjctf | lpr -Pemjc
```

- ・B 5 サイズの用紙を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 | lpr -Pemjc
```

- ・用紙の上下左右にマージン (余白) を指定する (上:5mm, 下:10mm, 左:15mm, 右:20mm)

```
% cat sample.txt | upfemjctf -pm 5 10 15 20 | lpr -Pemjc
```

- ・用紙サイズ及び、マージン (余白) を指定する

```
% cat sample.txt | upfemjctf -ps B5 -pm 5 10 15 20 | lpr -Pemjc
```

- ・バナーページ出力を抑止する

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc -h
```

注) ネットワークプリンタへの印刷時は、無効 (59ページの「注意事項」を参照)。

- ・コピー枚数を指定する (lprのオプションで指定する場合)

```
% cat sample.txt | upfemjctf | lpr -Pemjc -#2
```

注) ネットワークプリンタへの印刷時は、無効 (59ページの「注意事項」を参照)。

- ・コピー枚数を指定する (フィルターのオプションで指定する場合)

非ページ・プリンタ (パブルジェット、インクジェットなど) に印刷する場合、1ページ分のコピー枚数を印刷するには、1ページのデータ・サイズとコピー枚数を掛けたサイズのデータが作成されます。そのため、多くのディスクを消費し、印刷時間も遅くなります。

```
% cat sample.txt | upfemjctf -cp 2 | lpr -Pemjc
```

フィルターのオプションの詳細については、使用しているフィルターのマニュアルを参照してください。

lpr プリント・サービスのオプションの詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

7.1 インストールに失敗したらどうしたらよいか？

Solaris及びUnixWareの場合は、`pkgrm` コマンドを使用してパッケージを削除してから再度 `pkgadd` コマンドでインストールして下さい。`pkgrm` コマンドを使用して削除する場合にはフィルター（UPF-EMJC等）を削除してから最後にUPF-COREを削除して下さい。
その他のOSの場合は、そのまま再インストールしても構いません。

7.2 別のマシンへライセンスを移動したい

別途お問い合わせ下さい。

7.3 Solarisで印刷すると最初のページに日付みたいなものが印刷される

Solaris等で印刷すると通常はバナーページが最初に印刷されます。このバナーページを出力しないようにするには `lp` のオプションで `-onobanner` と指定することでバナーページを出力しないようにすることができます。

例えば、`ps` というプリントキューがある場合は下記のように指定します。

```
% lp -dps -onobanner 出力ファイル
```

7.4 SolarisでEPSON社製レーザープリンタへ出力すると文字化けが発生する

EPSON社製レーザープリンタではプリンタ側のプリンタモードをESC/Pageへ変更することで解消されます。

通常、初期設定ではESC/PS（ESC/Pスーパーモード、ESC/PとPCPRモードの自動切替え）になっているのでUPFからの印刷データが文字化けしてまいります。

7.5 SolarisでCANON社製レーザープリンタへ出力すると文字化けが発生する

CANON社製レーザープリンタではプリンタ側のプリンタモードをLIPSへ変更することで解消されます。

通常、初期設定では自動選択となっておりますが、UPFからの印刷データがLIPSになっているにもかかわらずLIPSモードに自動切替えされないプリンタがあります。この場合はプリンタモードをLIPSへ変更して下さい。

7.6 SolarisでUPFTOOLからTIFFファイルを印刷実行しても印刷されない

TIFFファイル内に無効なTAG（UPFで解釈できないTAG情報）があった場合、UPFフィルタではWarning出力されます。lpシステムではこのWarningをエラーと処理してしまうため出力と停止してまいります。この場合は一旦、UPFTOOLでTIFF形式で再度保存しなおしてから再度読み込んで印刷して下さい。

7.7 Solarisから印刷すると真っ黒で印刷されてしまう

Ultraの機種でSolaris2.6以上の場合、ECP対応のパラレルデバイス（プリンタデバイス /dev/ecpp0）がサポートされています。しかしOSによっては不具合のあるOSがありパッチを当てる必要があります。

```
Patch-ID# 105741-06
Keywords: nibble DMAC ecpp_isr printers prime deadlock ecpp_wsrv ecpp_close
Synopsis: SunOS 5.6: /kernel/drv/ecpp patch
Date: Oct/18/99

Patch-ID# 106235-04
Keywords: security lp.tell in.lpd lpfilter bsd_lpsched.so.1 -y
Synopsis: SunOS 5.6: lp patch
Date: Oct/18/99
```

インストール済みパッチの確認は下記のように行います。

```
# showrev -p
インストール済み Patch-IDの一覧が表示されます。
```

上記Patch-ID#の下線部の番号より小さい場合は、最新のパッチをインストールして下さい。パッチの入手方法については、マシン購入代理店またはSunのホームページより入手できます。

7.8 HP-UX10.xでEPSON PM-3000CやCANON LBP-730PSで印刷できない

「第2章インストール」の2.2 HP-UXへのインストール、HP-UXでの注意を御覧下さい。

7.9 HP-UXでローカルプリンタに出力すると遅い

HP-UXではローカルプリンタに出力した場合、UPFフィルターで変換しながら印刷しています。これをやめてUPFフィルタを通した結果のファイルをlpで要求すると印刷スピードが速くなります。

具体的にはHP-UXのSAMでスルーのプリントキューを作成し、作成したプリントキューにはUPFフィルタを通した結果のファイルをlpコマンドで印刷要求するといった方法です。

スルーのプリントキューの作成方法については「第4章プリンタの設定」の4.2リモートプリンタ、HP-UXの場合を御覧下さい。

また印刷要求を実行する場合には下記のように実行します。

例としてスルーのプリントキューをrawlp、UPFフィルタUPF-EMJCを使用した場合の記載します。

```
% upfemjCIF < イメージファイル > 結果のファイル
% lp -drawlp 結果のファイル
```

7.10 AIXでプリンタへ出力すると文字化けが発生する

UPFをインストールする前に既にローカルプリンタがある場合、その状態でUPFをインストールすると文字化けが発生する場合があります。これはUPFが使用するプリンタポート (/dev/lp0) に別のプリンタの情報が付加されてしまい、2重にフィルタが通ってしまうことが原因と考えられます。これを回避するには一旦、このプリンタポートを削除してからUPFをインストールする必要があります。削除するにはまず登録されているローカルプリンタを全て削除し、その後にプリンタポートを削除します。

登録されているローカルプリンタのプリントキューを削除します。

```
# rmquedev -q プリントキュー -d lp0
# rmque -q プリントキュー
```

プリンタデバイス (/dev/lp0) を削除します。

```
# rmdev -l 'lp0'
```

7.11 LinuxやSunOSでEPSON社製のPM-3000C/770Cへ出力できない

SunOSの場合は、「第2章インストール」の2.7 SunOSへのインストール、/etc/printcapを御覧ください。

Linuxの場合は、「第2章インストール」の2.8 Linuxへのインストール、/etc/printcapを御覧ください。

7.12 Linuxでプリンタへ出力すると文字化けが発生する

/etc/printcapの記述で入力フィルタを指定している可能性があります。/etc/printcap内の「:if=:」には何も記述しないで下さい。

7.13 LinuxやSunOSから印刷すると必ず2枚出力されてしまう

/etc/printcapの記述で「:sf:」（改ページ無効）を追加すると2枚出力されません。

7.14 ESC/Pのプリンタで文字サイズを変更して出力したが、英数字しか変更されない

ESC/Pでは仕様により漢字サイズの変更はできません。欧文のみ変更可能です。

7.15 ネットワークプリンタを登録する際の「ネットワークプリンタのプリンタ名」に何を指定すればよいかわかりません。

各プリンタのマニュアルに記載されてある場合もあります。マニュアルのWindowsNTでのネットワークプリンタ登録 (LPR Portの設定) の箇所に、「コンピュータのプリンタ名」と記載されてある名称を使用すればまず問題ありません。それでも特に記載がない場合は lp と指定して下さい。

7.16 PostScriptファイルを印刷したい

UPFはPostScriptファイルを扱えません。GhostScript等のRIPソフトを利用してTIFFやJPEG等のイメージへ変換してからUPFで印刷して下さい。

7.17 Netscapeから印刷したい

7.16でも触れましたが、Netscapeの印刷メニューからの印刷は、NetscapeがPostScriptのデータを印刷データとして渡しますので、UPFでは直接印刷はできません。画面ハードコピーなどを利用して印刷して下さい。

7.18 ESC/Pのプリンタで上下のマージンが効かない

現在のUPF-ESCPはESC/Pは連続紙対応コマンド体系の為、上下マージンは効きません。ESC/P V2はカット紙対応コマンド体系で上下マージンは可能ですが、現在のところ是对応していません。

7.19 EPSON社製 PM-3000CやCANON社製WonderBJ-F6000などでテキストを出力したい

最近のこれらのプリンタではテキストROMをもっていないので出力できません。どうしても出力したい場合には GhostScript等のRIPソフトを利用してテキストファイルをイメージ化する必要があります。

7.20 PostScriptに形成されたテキストファイルを印刷したが全角半角の比率が合わずにずれて印刷されてしまう

UPF-PSのテキストフィルタは初期設定として欧文フォントを Times-Roman を使用します。UPFフィルタのオプションで欧文フォントを Ryumin-Light.Hankaku等に変更して印刷して下さい。ただし、プリンタ側にRyumin-Light.Hankaku書体がない場合はRyumin-Light.Hankakuでの印刷はできません。

7.21 ESC/Pのプリンタで表がずれて印刷される

UPF-ESCPのテキストフィルタでは制御キーはそのまま出力されません。スペースで調整して出力して下さい。

7.22 UPFTOOLを実行し「印刷」すると "sh: //bin/upfxxxxif コマンドが見つかりません" と表示される。

環境変数の UPFDIR を設定していない事が原因です。「第5章ツールの設定」の5.2 環境変数の設定を御覧下さい。

7.23 いままで使えていたのにある日、突然使えなくなった。

現在使用しているUPFがタイムロック版またはサンプル版の可能性があります。正規ライセンスを取得して下さい。

7.24 テキストフィルタを使って印刷したが文字化けしている

UPFのテキストフィルタの初期設定はEUCコードとなっています。別のコード(ShiftJISやJISコード)のファイルを印刷したい場合には文字コードオプションでShiftJISやJISと明示的に指定する必要があります。